

2015年5月実績概要（メモ）

（2015. 6. 18）

1. 生産動向

エチレン生産は輸出が好調なこともあり高稼働継続、誘導品の生産は品目毎で増減あり。

イ) エチレン 531,300トン

前月比 ▲ 7.3% (▲ 41,700トン)
前年同月比 + 0.2% (+ 1,100トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	+ 3.3%	-
定修要因等	▲ 6.0%	+ 0.7%
能力増減	▲ 4.0%	▲ 4.1%
稼働率変動	▲ 0.6%	+ 3.6%
生産増減率	▲ 7.3%	+ 0.2%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月94.7%→当月94.1%←前年同月91.4%
定修プラント：前月1社1プラント→当月1社1プラント←前年同月2社2プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、日数増があったが、主に定修規模差からLD、HD、PS、MMAモノマー、ベンゼン、トルエン、キシレンなどの13品目でマイナス。PP、SBR、BRなどの4品目はプラスとなった。前年比では、定修規模差や稼働率要因等からPP、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、BR、キシレンなどの7品目でプラス。LD、HD、PS、SM、MMAモノマー、AN、ベンゼンなどの10品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数は増加したが、春の定修の集中時期にあたったことや稼働率要因からLD、HD、PSでは大幅なマイナスとなった。PPは主として定修規模の減少からプラスとなった。前年比では、稼働率要因等からLD、HD、PSではマイナス。PPは定修規模差等からプラスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、大型連休に伴う営業日数の減少もありLD、HD、PP、PSの4樹脂揃ってマイナスとなった。前年比では、LD、HDでは輸入品の減少が続いていることもあり、フィルム分野の出荷が増加した。PPでは先安感からのユーザー産業における買い控えの姿勢もほぼ解消されこともあり、主用途の射出成形分野、押出成形分野の出荷が増加した。PSでも包装分野、雑貨・産業用の出荷が増加しプラスとなった。

ハ) 輸出

前月に続いて良好な交易条件からLD、PPは前月比でプラス。前年比でもLD、HD、PPでプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PSで減少し、PPはやや増加した。在庫率(季節調整済)はLD、HD、PPは前月に対して低下、PSは前月並となった。在庫水準としては、LDはやや高め、HD、PP、PSはほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		4月末	5月末
LD	▲ 3,300	3.5	3.1
HD	▲ 12,500	2.8	2.6
PP	+ 7,000	2.6	2.5
PS	▲ 6,700	1.2	1.2

以上